

## 日本列島 地質からひもとく

名古屋市科学館 愛教大・星教授が講演



地層の研究で分かった日本列島の形成過程などを説明する星教授＝中区の名古屋市科学館で

化石や地層の研究者や愛好家でつくる東海化石研究会の「化石を語る 文化講演会」（中日新聞社など主催）が二十九日、中区の名古屋市科学館で開かれた。愛知教育大の星博幸教授（地質学）が、日本列島の形成過程を分かりやすくひもとき、地質学の面白さを伝えた。

星さんは「岩石に含まれる質は多様で、詳しく調べる

と日本列島誕生に関するヒントが得られる」として、知多半島の南部にある千八百万～千七百万年前の地層「師崎層群」で進めている研究も紹介した。

子どもや研究会員ら約二百二十人が聴講。「どうしたら化石を掘る人になれませんか」「どうして地質学に興味を持ったのですか」など質問が寄せられ、星さんは「理科を楽しく勉強し、川や海で化石を探してみても、どんな分野でも好きな気持ちを持って頑張ればできる」と伝えた。

（城石愛麻）